

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月26日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松尾 民男
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東 名

TEL 052-251-6891

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	91,947		650		702		167	
20年3月期第3四半期	103,196	6.2	3,059	19.2	3,320	19.9	2,121	12.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	7.41	
20年3月期第3四半期	91.82	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	53,643		28,205		52.0		1,256.37	
20年3月期	57,766		29,464		50.7		1,286.73	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 27,911百万円 20年3月期 29,295百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		15.00		17.00	32.00
21年3月期		17.00			
21年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	14.0	2,100	59.9	2,100	61.4	900	75.1	38.91

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 社(社名)) 除外 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 注. 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無
 注. 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	23,125,773株	20年3月期	23,125,773株
期末自己株式数	21年3月期第3四半期	910,193株	20年3月期	358,160株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	22,637,523株	20年3月期第3四半期	23,100,082株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年11月11日に公表した連結通期業績予想を修正しました。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(4月～12月)の業績は売上、利益共に前年実績を下回る厳しい結果となりました。特に第3四半期連結会計期間(10月～12月)に入ると、世界的な金融危機がわが国の実体経済にも影響し始め、パソコン関連製品の売れ行きにも急ブレーキがかかりました。この需要減退に対応し販売店各社が流通在庫の圧縮に動いたため、市場の停滞以上に当社グループの売上高は伸び悩みました。また、世界的なパソコン需要の減少と円高の進行により輸入部品価格が下落し、当社部品在庫に評価損が発生しました。さらに、製品販売価格の低下を招き在庫補償金額が増加するなど減益要因が重なりました。このような市場環境の急変に対応し、製品戦略の強化、売上高の確保、原価低減と経費削減による競争力の確保を目指し、更なる市況悪化に耐えうる企業体質の強化に取り組みました。

この結果当第3四半期連結累計期間の売上高は919億47百万円(前年比10.9%減)、営業利益6億50百万円(同78.8%減)、経常利益7億2百万円(同78.9%減)、四半期純利益1億67百万円(同92.1%減)となりました。

製品分野別の状況は以下の通りです。

メモリ及びフラッシュメモリ製品は、販売単価と数量の低下により売上高はメモリ前年比29.6%減、フラッシュメモリ30.9%減と大幅に落ち込みました。さらに主要部品である半導体部品(DRAMとNANDフラッシュ)の価格低下に円高が加わり、円ベースの調達価格が低下したため第3四半期にはメモリとフラッシュメモリ合わせて評価損9億82百万円、在庫補償6億86百万円と大きな減益要因が発生しました。

ストレージ製品は、第3四半期に主力の外付けハードディスクにややブレーキがかかりましたが、販売台数は年率20%程度の成長を継続しました。しかし、販売単価の下落と第3四半期の在庫補償15億49百万円の影響が大きく販売金額はほぼ前年並みとなりました。

ネットワーク製品は、国内の無線LANの販売台数が前年比19%伸張しましたが、有線のLAN製品と米国の販売が減少し連結の売上金額では前年比9.9%減となりました。

その他の製品は、各製品の需要が落ち込む中サプライ・アクセサリ製品は比較的順調に販売を伸ばし売上金額は前年比11.2%増となりました。

なお、前年比増減につきましては参考として記載しております。

[製品分類別連結売上高]

	平成20年3月期 第3四半期累計		平成21年3月期 第3四半期累計		前年比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	17,369	16.8	12,222	13.3	△29.6
フラッシュメモリ	9,725	9.4	6,721	7.3	△30.9
ストレージ	31,793	30.8	31,831	34.6	0.1
N A S	10,417	10.1	10,667	11.6	2.4
ネットワーク	16,951	16.4	15,280	16.6	△9.9
デジタルホーム	3,359	3.3	2,557	2.8	△23.9
サプライ・アクセサリ	5,696	5.5	6,334	6.9	11.2
DOS/Vパーツ	3,026	2.9	2,528	2.8	△16.5
液晶ディスプレイ	2,231	2.2	1,675	1.8	△24.9
サービス	1,962	1.9	1,741	1.9	△11.3
その他	662	0.5	386	0.4	△41.7
合計	103,196	100.0	91,947	100.0	△10.9

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は536億43百万円となり、前期末に比べ41億22百万円減少しました。流動資産は476億80百万円となり43億59百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少55億11百万円とたな卸資産の増加33億11百万円によるものです。固定資産は59億63百万円となり2億37百万円増加しました。

当第3四半期末の負債合計は254億37百万円となり、前期末に比べ28億64百万円減少しました。流動負債は226億3百万円となり29億64百万円減少しました。これは主に、法人税の支払に伴う未払法人税の減少19億52百万円によるものです。固定負債は28億34百万円となり1億円増加しました。

当第3四半期末の純資産の部は282億5百万円となり、前期末に比べ12億58百万円減少しました。これは主に、自己株式の取得5億73百万円及び配当金の支払7億74百万円によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は83億51百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は1百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が4億64百万円、売上債権の減少による44億1百万円の資金増加があり、一方で、たな卸資産の増加による34億81百万円、法人税等の支払30億72百万円の資金減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は26億91百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出15億1百万円、無形固定資産の取得による支出9億26百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は14億19百万円となりました。これは主に配当金の支払7億74百万円と自己株式の取得による支出5億73百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年11月11日に公表しました平成21年3月期の連結通期業績予想を修正しました。詳しくは、本日別途公表した、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

1. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

3. 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,863	12,438
受取手形及び売掛金	19,018	24,529
商品及び製品	7,791	5,768
原材料及び貯蔵品	6,521	5,108
仕掛品	—	125
その他	4,549	4,123
貸倒引当金	△64	△54
流動資産合計	47,680	52,040
固定資産		
有形固定資産	1,707	1,846
無形固定資産		
のれん	141	174
その他	2,522	2,029
無形固定資産合計	2,664	2,204
投資その他の資産		
その他	1,857	1,675
貸倒引当金	△265	△1
投資その他の資産合計	1,591	1,674
固定資産合計	5,963	5,726
資産合計	53,643	57,766
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,979	19,087
1年内返済予定の長期借入金	29	93
未払法人税等	41	1,993
役員賞与引当金	12	31
その他	4,539	4,361
流動負債合計	22,603	25,568
固定負債		
長期借入金	36	45
退職給付引当金	594	542
役員退職慰労引当金	510	491
リサイクル費用引当金	191	136
その他	1,501	1,518
固定負債合計	2,834	2,733
負債合計	25,437	28,301

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	1,926	1,927
利益剰余金	26,275	26,881
自己株式	△1,209	△637
株主資本合計	27,993	29,172
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58	275
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	△140	△159
評価・換算差額等合計	△82	123
新株予約権	4	2
少数株主持分	290	165
純資産合計	28,205	29,464
負債純資産合計	53,643	57,766

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	91,947
売上原価	78,753
売上総利益	13,194
販売費及び一般管理費	12,544
営業利益	650
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	14
為替差益	74
その他	56
営業外収益合計	160
営業外費用	
支払利息	1
デリバティブ評価損	71
その他	35
営業外費用合計	107
経常利益	702
特別利益	
固定資産売却益	3
投資有価証券売却益	279
受取補償金	10
過年度損益修正益	0
その他	0
特別利益合計	294
特別損失	
固定資産売却損	4
子会社整理損	135
貸倒引当金繰入額	265
過年度損益修正損	4
その他	123
特別損失合計	532
税金等調整前四半期純利益	464
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等調整額	157
法人税等合計	230
少数株主利益	66
四半期純利益	167

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	464
減価償却費	831
のれん償却額	32
受取利息及び受取配当金	△29
支払利息	1
売上債権の増減額(△は増加)	4,401
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,481
仕入債務の増減額(△は減少)	△100
その他	306
小計	2,426
利息及び配当金の受取額	29
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△3,072
法人税等の還付額	621
営業活動によるキャッシュ・フロー	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,501
有形固定資産の取得による支出	△471
無形固定資産の取得による支出	△926
投資有価証券の取得による支出	△184
投資有価証券の売却による収入	375
その他	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△72
自己株式の取得による支出	△573
配当金の支払額	△774
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,076
現金及び現金同等物の期首残高	12,428
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,351

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社グループは、コンピュータ周辺機器の製造・販売を主事業としている専門メーカーであり、当該事業の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	東南 アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	77,140	1,154	5,398	8,253	91,947	—	91,947
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	11,131	10,438	37	1,030	22,638	△22,638	—
計	88,271	11,593	5,436	9,284	114,586	△22,638	91,947
営業利益 (又は営業損失△)	700	△45	△19	83	718	△68	650

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アジア オセアニア	北米	欧州	計
I 海外売上高(百万円)	3,323	5,398	8,253	16,976
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	91,947
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	3.62	5.87	8.98	18.46

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	103,196
II 売上原価	88,011
売上総利益	15,185
III 販売費及び一般管理費	12,126
営業利益	3,059
IV 営業外収益	323
V 営業外費用	62
経常利益	3,320
VI 特別利益	163
VII 特別損失	103
税金等調整前四半期純利益	3,381
税金費用	1,503
少数株主損失	242
四半期純利益	2,121

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,381
減価償却費	481
売上債権の増減額(増加は△)	3,158
たな卸資産の増減額(増加は△)	△3,850
仕入債務の増減額(減少は△)	△3,046
その他	△584
小計	△460
法人税等の支払額	△4,565
法人税等の還付額	3,299
その他	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,706
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	4,469
投資有価証券の取得による支出	△94
有形固定資産の取得による支出	△588
無形固定資産の取得による支出	△885
その他	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,934
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	150
長期借入金の返済による支出	△216
配当金の支払額	△693
その他	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△818
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△29
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	379
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,979
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	8,358

(3) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	日本 (百万円)	東南 アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	85,096	2,082	7,680	8,336	103,196	—	103,196
(2) セグメント間の内部売上高	14,782	17,558	6	910	33,257	△33,257	—
計	99,878	19,640	7,686	9,247	136,453	△33,257	103,196
営業費用	96,238	19,516	7,901	9,739	133,395	△33,258	100,137
営業利益 (又は営業損失△)	3,640	124	△214	△491	3,057	1	3,059